



ised-d6 comment

hiroki azuma

2005/11/12

組織と社会？

● 設計研は「組織」の話？

- 目的設定と組織運営を分離したうえで、組織運営の効率化としての「オープン」の話ばかりしているのではないか
- 目的は市場が用意してくれる？ 本当？
- 設計研第2回: オープンソース・コミュニティの目的は？
- 設計研(((第3回: mixi 的欲望はいつどこから来たの？

● この問題設定では社会全体の設計はできないのではないか？

配分には境界が必要

- 「富のゲーム」と「知のゲーム」
- 富の配分 知の配分(公文俊平)
- 実際には富の配分と知の配分が乖離している

- では知の配分をどうするか？
- スケールフリー 再配分
- オープンソースはひとつの回答
- でも境界内でしかできない？
- Rawlsのminimax原理 Peter Singerの批判
- 同じことが知の配分についても言えるだろう

整理



- 設計研 = 組織の設計
- オープンな組織の目的は組織外部からやってくる
- 問題を一步進めよう
 - 組織内部/外部の溶解を前提に
 - 全面的なオープン化は可能か
 - すべてがサービスとして繋がるPICSY的世界
 - オープンな目的設定はありうるか

固有名の問題？ 切断の問題？

- すべてがつながる世界でも固有名
- が必要？
- ex.1
- 集团的著作権の限界
 - 富の配分は集团的に可能だが、知の配分は難しい
 - 評判のゲームは、定義上固有名を必要とする
- ex.2
- 行政(階層構造)と民主主義(ネットワーク)のハイブリッド
 - 王の機能
 - 帰責性 = 再定義可能性を想起させる機能
 - 民主主義2.0は可能なもの？



再整理

- コミュニケーション / 配分の議論から目的の議論へ進めないか
- コミュニケーションの革命は新しい価値を生み出すのか
 - 付加価値はコミュニケーションから来るかも
- コミュニケーションの革命は、最終的な二層構造としての文明社会と自然環境の関係を換えられるのか
- 「市場」「競争」をマジックワードにしないで議論ができるか